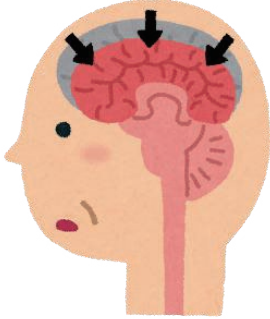


認知症とは

認知症とは、認知機能が低下して日常生活や社会生活に支障をきたすようになる状態です。以下のとおり、原因によって症状が異なりますので、早期受診が必要です。



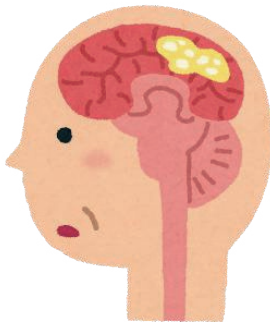
🔍 アルツハイマー型認知症

脳の神経細胞が徐々に減って働きを失うことにより、同じことを何度も聞く、大事な物を置いた場所がわからなくなる、人や物の名前が出てこなくなる、日付や時間・場所がわからなくなる、仕事の手順が分からなくなるなど、さまざまな症状が現れ、次第に進行します。



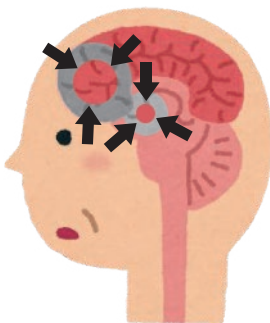
🔍 血管性認知症

脳の血管が破裂したり（脳出血）、詰まる（脳梗塞）ことにより、片麻痺やしやべりにくさなどの身体症状と併せて、感情や意欲が乏しくなる場合があります。新たな血管障害が起こらなければ、症状に大きな変化はみられません。



🔍 レビー小体型認知症

脳の中にレビー小体ができることにより、幻覚や妄想、パーキンソン病と類似した運動障害（ふるえやゆっくりした動作など）が現れます。自律神経障害のため、起立性低血圧や食事性低血圧を起こすこともあります。



🔍 前頭側頭葉型認知症

前頭葉・側頭葉が萎縮することで行動に抑制がきかなくなり、テーブルの上にある食べ物を全部食べてしまったり、隣の庭のきれいな花を悪気なく摘んでしまったりすることがあります。

このほか、慢性硬膜下血腫や正常圧水頭症、心不全（徐脈）、呼吸不全、甲状腺機能低下症などがあり、これらは原因となる病気を治療すれば、症状が改善する場合があります。